

春風秋霜 12月号

令和4年12月21日
島田市教育委員会だより
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 赤ちゃんのことが好きになりました

皆さんもご存じかと思いますが、教育委員会社会教育課が所管している事業は、赤ちゃんからお年寄りまでと、いろいろな活動を行っています。

1月8日には、「はたちの集い」が行われます。社会教育課が中心になって教育委員会の各課の職員が総出でこの行事を実施します。他市の多くがそうですが、本市でも20歳の成人を集めて、「はたちの集い」を実施します。式に参加する皆さんをどのように迎えたらいいか、送ってきてくれた家族の車の進入をどうしたらよいかなど、いろいろなケースの対応を考えています。皆様が気持ちよく参加できて、思い出に残る「はたちの集い」になることを願っています。

さて、社会教育課では、「中学生赤ちゃんふれあい体験事業」を島田第一中学校で実施しました。今回は、この事業について書いてみたいと思います。

「中学生赤ちゃんふれあい体験事業」は11月7日8日に実施されました。赤ちゃんを連れてきてくださったお母さんから子育ての話を知ったり、赤ちゃんを自分の手で抱っこしてあやしたり、目を見つめたりという体験をする活動です。多くの子供たちは、初めて赤ちゃんを抱っこしたり、お母さんから話を聞いたりという体験をしていました。

このような体験がいかに大事かということについて以下のアンケートから感じることができました。

事業実施前のアンケート回答者数は、149人

実践学習後のアンケート回答者数は、142人

Q1 あなたは、どのように赤ちゃんに接したら良いか。イメージできましたか。

| | 事業実施前 | 実践学習後 |
|---------|-------|-------|
| できる | 25人 | 70人 |
| だいたいできる | 57人 | 56人 |
| あまりできない | 52人 | 14人 |
| 全くできない | 13人 | 2人 |
| 無記入 | 2人 | 0人 |

Q2 将来、子どもを育てたいと思いますか。

| | 事業実施前 | 実践学習後 |
|---------|-------|-------|
| 思う | 44人 | 69人 |
| 少し思う | 49人 | 42人 |
| あまり思わない | 44人 | 25人 |
| 全く思わない | 10人 | 5人 |
| 無記入 | 2人 | 1人 |

Q1の結果を見ると、赤ちゃんを目の前にして話を聞いたり、抱っこをしたりしたことによって、赤ちゃんと接するイメージができるようになったと思われます。とても大事なことだと思います。

Q2の結果をみると、この事業により赤ちゃんを抱っこするという経験をしたことによって、将来自分の子どもを育てたいという気持ちになったのだと思います。

【生徒の感想をいくつか紹介したいと思います。】

Aさん・・・ずっと赤ちゃんを抱っこしたいという思いが変わった。

Bさん・・・育児は大変なだけだと思っていたけれど、楽しいこともいっぱいあるということが分かった。

Cさん・・・前までは泣く・叫ぶ・面倒くさいなどマイナスのイメージが多かったけれども、実際に触れ合ってみると、かわいくて温もりがあって抱っこすると動いて、「命がある」みたいな感じになりました。

Dさん・・・赤ちゃんは目がきれいでした。お母さん達の話を知ると体力的に育児はなかなか辛いものだと感じました。赤ちゃん親子がいたら、席を譲るなどできる場所で手助けをしていきたいと思いました。

中学生にとって、「中学生赤ちゃんふれあい体験事業」がとても大事な活動だということが分かります。

肘かけ椅子

「品位・情熱・結束・規律・尊重」

社会教育課長 清水 基之

標題のフレーズを御存じですか？この5つの言葉はラグビーという競技に携わる全ての人々が共有すべき価値観として、ラグビー憲章に掲げられているものです。

“闘球”と称される激しいゲームを成立させるため、自身に、仲間に、相手に、そして競技に対する意識として一つ一つがとても大切な意味を持っていますが、これはラグビーに限らず我々の生活全般にも共通しており、組織の適切な運営を図るうえでもたいへん意義深い指標であると解釈しています。

他にも「NO SIDE」「ONE FOR ALL, ALL FOR ONE」「ONE TEAM」などが、競技の枠を超えて広く一般的に使われています。こうしたラグビーの精神に学びながら、日々の業務に取り組んでいきたいと常々考えているところです。

自分がこの競技に接したのは、学生時代に体育の履修科目として選択したのが契機で、その後、楯円球を手にする機会はなかったのですが、数年前に「タッチラグビー」の愛好家と出会ったことから、時間のある時に練習に参加して汗を流しています。さすがに体力的に厳しく、最近ではコロナ禍を口実にサボりがちですが…

スクラムやキック、タックルがなく、鬼ごっこ感覚の競技ですので、どなたでも楽しめます。「興味がある」「やってみたい」という方は是非お声掛けください。

FIFA WORLD CUPの興奮も記憶に新しい中、来年はRUGBY WORLD CUPがフランスで開催されます。こちらの日本代表も前回以上の活躍が期待できそうです。

また、代表選手が各チームに所属する「ジャパンラグビー・リーグワン」も開幕しました。静岡ブルーレヴズの快勝を願い、今季もヤマスタに足を運びます。(^^)